

患者さんと医療機器

との架け橋役 臨床工学部の紹介

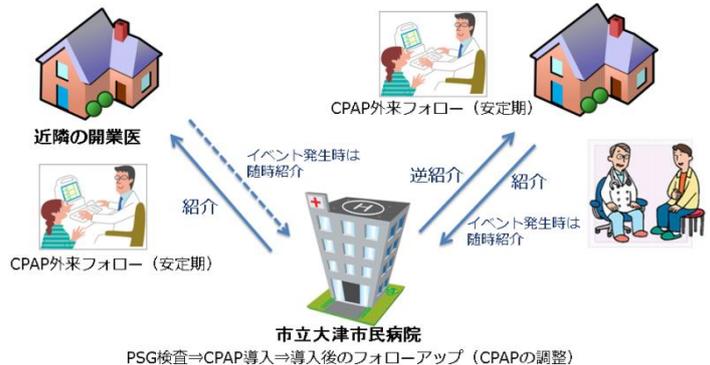
概要

臨床工学技士は、1987 年新しく出来た国家資格で、生命維持管理装置をはじめとする医療機器の操作及び保守管理をおこなうことを業としています。歴史は浅いですが、近年、医学の進歩とともに医療機器も大きく進歩している中、医療機器の安全をつかさどる臨床工学技士のニーズは非常に高くなってきています。

臨床工学部では、高度化する医療・機器に対応すべく、臨床工学技士 16 名で、業務を「循環器部門」「呼吸代謝部門」「血液透析部門」「医療機器管理部門」「手術室部門」の 5 部門に分け、横断的かつ専門的に活動できるよう組織しています。また、2015 年から当直を開始し、24 時間 365 日、迅速に対応出来る体制を整えています。

地域連携

臨床工学部では、人工呼吸器や CPAP 装置などの医療機器を通じて地域医療とも密接に関わっています。特に、SAS(睡眠時無呼吸症候群)は、最近注目されているメタボリックシンドロームや高血圧、糖尿病、心臓疾患、脳卒中とも深い関係があるといわれており、CPAP 療法などで比較的容易に症状を改善する事ができます。我々は、ご紹介頂いた SAS 患者様の CPAP 療法導入や定期的な CPAP 外来を実施し、地域医療に携わる皆様としっかりとした連携を心がけてお手伝いをさせていただきます。



今後とも、医療機器のスペシャリスト部門として、患者様に安全で適切な医療が提供できるよう研鑽を積み、皆様とともに地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



こんな看護をしています

—認定看護師の紹介—

がん化学療法看護認定看護師 奥野 あす香



患者様・ご家族様とお話をさせて頂くと、化学療法に対して「吐き気」や「脱毛」などの印象を抱かれています方が多いことが窺えます。しかし、化学療法は吐き気止めなどの支持療法も良くなり、外来で治療を継続される方も増加傾向にあります。

「仕事をしながら…」「子育てをしながら…」「親の介護をしながら…」など患者様は、“時間の制約”“経済的・心理的負担”など様々な事情を抱えながら治療に臨まれています。そのような個々の事情を抱えながら必要な治療を受けて頂くためには、「患者様と医療者のコミュニケーション」は重要です。“不安や疑問に思っていること”“出ている副作用の状態”などは、治療を始める前・中・後によって異なります。

私は、がん化学療法看護認定看護師として“医師”や“薬剤師”などの多職種と連携し、患者様が「自分らしい生活を送りながら治療を継続する（治療を完遂する）」ことができるようにサポートをさせて頂きたいと思っております。



—地域との“つながり”を大切にします。—
私たち、退院支援部門の相談員チームです。



地域の皆様には、平素より大変お世話になり心より感謝申し上げます。当室の地域医療連携室は本館2階の外来フロアにあり、2017年4月1日より、それまで地域医療連携室として担ってきた入退院支援業務を更にパワーアップさせるため、地域医療連携室/入退院センターとして新たなスタートを切りました。

その中で、退院支援部門は主に当院での急性期の治療を終えた患者様の退院(転院)支援を行っています。患者様・ご家族様の意向にも耳を傾けながら、限られた病床を市民の皆様にも有効に活用していただけるようにとの使命感を持って日々業務に当たっておりますが、時には支援困難事例に遭遇して悩むこともあります。



今回はそんな退院支援部門の相談員にスポットを当てました。今後とも私たちは、地域との“つながり”を大切にしながら、少しでも患者様・ご家族様にとってのより良い支援ができる様努力して行く所存です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

福田 知美 (看護師)

患者様やご家族様だけでなく、地域で支援くださっている皆様にとっても「病院として丁寧な支援をした上での退院」となる様に心がけています。これからも皆様に助けを頂きながら、この仕事を続けていけたらと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



四方 美幸 (看護師)

在宅支援や転院調整だけでなく、虐待やハイリスク妊産婦、自殺企図の患者様に対して、各関係機関の方々と連携し、支援させていただいております。「患者様やご家族様の思いに寄り添う」ことを第一に邁進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



近藤 千園 (社会福祉士)

困ることや迷うことがたくさんありますが、皆様のおかげでどんなことも何とかこなしています。「琵琶湖のように、広くて穏やかな心で」と日々琵琶湖を眺めながら意識しています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



森本 郁 (社会福祉士)

患者様やご家族様にとってよりよい退院支援になるように日々仕事に励んでいます。これでよかったのかと思いつつも悩むこともたくさんありますが、病院の仲間や地域の皆様に助けられてなんとかやっています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



吉川 麻紀 (社会福祉士)

主に整形外科・脳神経外科・緩和ケア科を担当しています。のんびりした性格ですが、仕事は迅速・丁寧に、少しでも患者様に寄り添った退院支援ができるよう、日々奮闘中です。今後ともよろしくお願い致します。「MSWアイコさん」もよろしくお願い致します！



病棟での定期カンファレンス



市立大津市民病院大学レポート

第7回 健康講座

テーマ：『乳がんのホントのことを教えます！』

- ◆日時：平成30年2月2日（金）14時～15時
- ◆場所：市立大津市民病院 9階大会議室
- ◆講師：当院健診センター診療部部長/外科医長 洲崎 聡医師
- ◆参加者：46名（院外37名、院内9名）

今回の健康講座は、滋賀県が実施するがん対策の一つである、『滋賀県がんと向き合う週間(2月4日(日)～2月10日(土))』に合わせて開催いたしました。洲崎講師からは、乳がんが増えていること、乳がんの手術療法や化学療法、ホルモン療法などの治療のこと、乳がんの遺伝性、リスク因子、乳がん検診などについての話がされました。受講者はほとんどが女性でしたが、中にはご夫婦で参加してくださった方もおられ、講師のお話熱心に耳を傾けておられました。受講後のアンケートでは、「小林麻央さんをきっかけにこの講演会に参加しようと思いました。」「詳しく説明していただきよくわかりました。」「早期発見が大事だと思いました。」「乳がん手術をして無事10年が経ち、これからも検診を受けながら健康第一に過ごして行きたいと思います。」等の感想をいただきました。



市立大津市民病院市民公開講座レポート

テーマ：『これだけは知っておきたい
“下肢静脈瘤の症状と最新の治療”』

- ◆日時：平成30年2月23日（金）14時～15時30分
- ◆場所：市立大津市民病院 9階大会議室
- ◆講師：当院心臓血管外科医長 藤原 克次医師
- ◆参加者：50名（院外45名、院内5名）

この講座は、昨年4月にも実施しましたが、好評をいただき今年度2回目の開催となりました。

藤原講師からは、下肢静脈瘤の症状、検査、患者さんへの負担が少ない最新の治療であるレーザー治療を初めとした治療の数々、手術後の経過、合併症といった内容について丁寧なお話がされました。

また、1時間の講演後は心臓血管外科診療部長の岡野医師、藤原医師による約30分間の「相談コーナー」も設け、10人を超える方々に個別相談を受けていただきました。

受講後アンケートでは、「分かり易いお話でした。」「静脈瘤がどのようなものかよくわかりました。テレビの情報を鵜呑みにしてはいけないと思いました。」「先生の個別相談を受け、ずっと気になっていたことが解決に向かうことになり安心しました。」などの意見をいただきました。



相談コーナー



藤原講師



相談コーナー



心臓血管外科
岡野診療部長



★研修会等開催のお知らせ★
(参加費・駐車料金：無料)

●NST(栄養サポートチーム)勉強会

3月12日(月) 17時30分～19時

テーマ：「簡易懸濁法、経腸・経静脈栄養他」「口腔ケア」

講師：当院薬剤師 鄭 智佳

当院歯科衛生士 山本 信子

場所：市立大津市民病院 9階会議室3

※ お申し込み・お問い合わせは栄養部 西田まで
TEL:077-522-4607(代表)

●ER症例発表会

(市立大津市民病院 救急診療科)

3月8日(木) 17時30分～

発表者：当院2年目研修医(疋田健人、坂野遼)

当院1年目研修医(阪井貴美子、田中千智、原田彩香)

大津市消防局担当者

場所：市立大津市民病院 9階大会議室

(ER・ICUで経験した興味深い症例の考察を含め発表致します)

お問い合わせ
市立大津市民病院 2階
地域医療連携室 TEL:077-526-8192)

市立大津市民病院見学会のご案内

大津市医師会／市立大津市民病院の共催で、下記学術講演会および病院見学会を開催させていただきます。

日時：平成30年3月15日(木)
14:30～16:30

会場：市立大津市民病院 9F 大会議室

【Ⅰ. 学術講演】

演題：小児アレルギー診療の今昔

演者：市立大津市民病院

小児科医長 木原 明生医師

【Ⅱ. 病診連携にかかわるディスカッション】

【Ⅲ. 病院見学】

見学場所：小児科(5A)病棟、未熟児室

※出席される先生は、淡海あさがおネットメール又は、FAX(524-3928)にて大津市医師会事務局までお申し込み下さい。(3/2(金)迄)

地域医療連携室より…

今月の一言

『人の優しさを噛みしめる事』

2月も知らない間に逃げて行ってしまいました。
慌ただしい毎日の中でふとした瞬間に感じる“人の優しさ”を大切にしたいと思います。

明日からも頑張れそうです！

人の優しさを
噛みしめる事



作
イラスト…まきろん